

# 特集：おらほの担い手

## 地区のようす

- ・ 県北地域で栗原市の西部（旧一迫町）に位置し、基幹産業は水稻を中心に野菜、ヘチマ、花卉を取り入れた複合経営が盛んで、長年、良質米の生産基地として確立した農村地帯である。
- ・ 特に、古くから伊達藩献上米の里としても名高い。

### 関連ほ場整備事業

事業名	第1次農業構造改善事業（水田基盤整備事業）
地区名	金田
実施年度	S44年度～S46年度
受益面積	106.0ha



## ほ場整備を契機とした集団組織の始まり

この地区のほ場は、昭和40年代に一区画20a～30aの工事が進められ、当時としては周囲のほ場に比べ大きく生まれ変わり、その区画を活かすための取り組みが始まった。

その取り組みとは、事業を契機にいち早く農業機械の過剰投資を避けた低コスト稲作を目指すもので、5集落（東町・中町・新町・滝野・清水目）106haの受益者160戸を組合員する「清水目機械利用組合」を発足し、集落営農の発展を遂げ、地元に基づいた組織として、地域の農業を着実に支えてきた経過を生み出し、その後の農業生産法人の設立に大きく貢献する原動力となった。

## 農業生産法人（有）川口グリーンセンターの取り組み

### 1.担い手（農業生産法人）の概要

設立年月：昭和46年（清水目機械利用組合設立）  
 平成7年（名称を川口グリーンセンターに改称）  
 平成13年1月（法人化）

所在地：栗原市一迫字川口町尻8番地

代表者：白鳥正文

役員：2名

資本金：300万円

社員：常時雇用5名、臨時雇用6名

事業内容：（H20年度現在）

作業受託部門：耕起・代掻き15ha、育苗6,000箱、田植15ha、稲刈り15ha、畦畔塗7,000m、その他

水稻耕作部門：賃貸借契約者100名、契約面積50ha  
 （水稻30ha、大豆12ha、WCS4.5ha 飼料作物3.5ha）

栽培品種：ひとめぼれ・ササニシキ・ミルククイーン・もちむすめ・県指定稲採種（ひとめぼれ）

花生産部門：スプレー菊22万本（麒麟ビール品種）  
 うち市場出荷6割

販売部門：農産物直売所・通信販売等



<白鳥代表（中央）と従事者のみなさん>

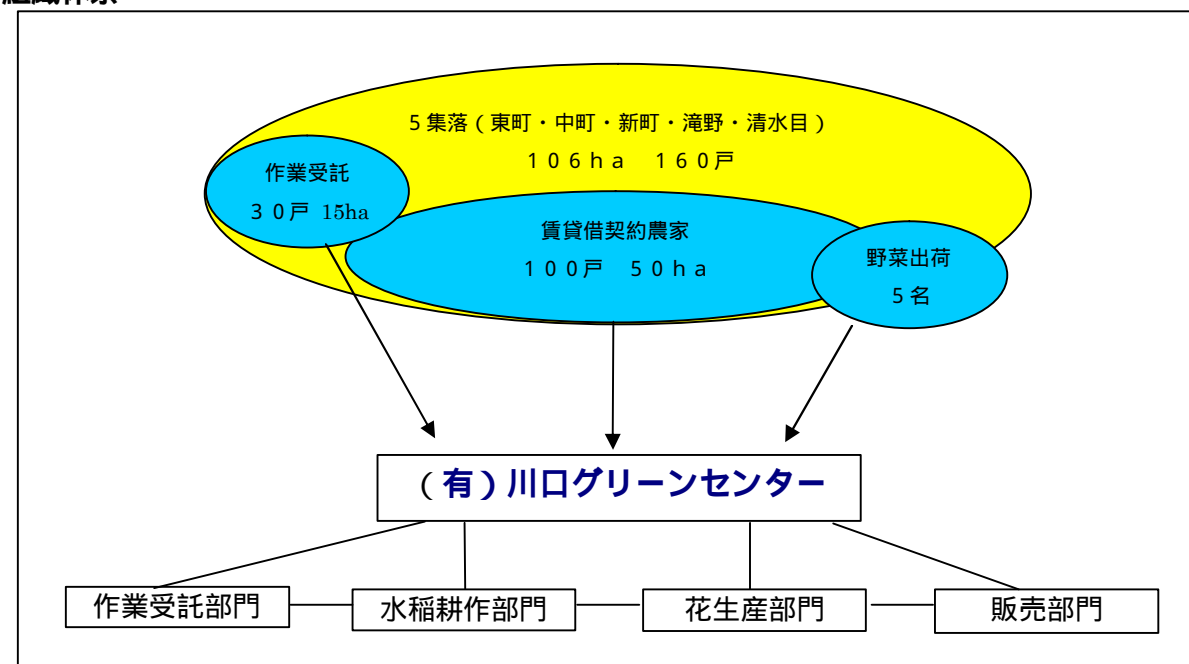


菊のハウス栽培



直売所

## 2.組織体系



## 3.法人の理念

法人は、自然環境を守りながら特色ある生産販売に取り組み、本物の農産物を提供することで農村と都市住民における農業への相互理解を深め、食と環境の大切さを訴えながら「自然と共存共栄」を基本コンセプトに田舎の持つすばらしさを訴え、生き甲斐のある農村社会の創造に貢献することを理念に運営されている。

## 4.部門別の取り組み

特長としては、4つから成る部門（作業受託・水稻耕作・花生産・販売）を設け、特に販売部門では生産した米の3分の2は直売用として確保し、残りの3分の1は地元のJAへ一旦出荷し、低温倉庫で保管されている米を追加販売用として「利ざや」を支払って買い戻し、直売所での店頭販売や注文販売を中心に、さらに販売戦略として関東方面への営業の強化と「良品質の米」としてインターネットを活用した通信販売を行なっている。

また、賃貸借契約農家との関係では、より良い関係を築いていくため、通常販売価格10,500円（30kg当たり）より2割値引きして販売している。さらに直売所では農産物の販売の外、街のコンビニ的な雑貨屋を併設し、地元高齢者の買い物に重宝されている。

今年の新たな取り組みとして、「冬水田んぼ」による作業(2.2ha)の省力化や「発酵鶏ふん」散布による肥料代の削減と食味向上対策に取り組む等、4部門の年間収入目標1億円を目指している。

### (1) 作業受託部門

作業受託としては、耕起・代掻き、田植、育苗、刈取、畦畔塗など一部作業や基幹3作業を受け持っている。なお、防除作業については別組織である防除組合「一迫WING」の無人ヘリコプターを利用して行なっている。

### (2) 水稻耕作部門

水稻耕作は、農業委員会を通し3年契約による利用権設定を結び、小作料の支払方法は基本的に金銭（一部物納）での支払いを取っている。

また、本年度から新たな取り組みとして、栗原市内の漬物屋と契約栽培を結び稲WCS(4.5ha)刈り取り後の水田に9月上旬、白菜を40a植付け、11月中旬には漬物用として出荷を行なう。

### (3) 花生産部門

大型鉄骨ハウス3棟（1棟500坪）のうち1棟でスプレー菊を年間22万本生産し、八戸や関東市場へ全体の6割を出荷している。残りの4割は直売で、特に彼岸やお盆は大人気である。

### (4) 販売部門

平成8年から野菜の直売所を開店し、その後、地元の需要に答える形で雑貨店を設け高齢者の為に電話注文や宅配を行なっている。通信販売については、米を中心にインターネット販売に力を入れているほか、各物産展にも出展するなど、新規顧客の開拓を積極的に行なっている。